

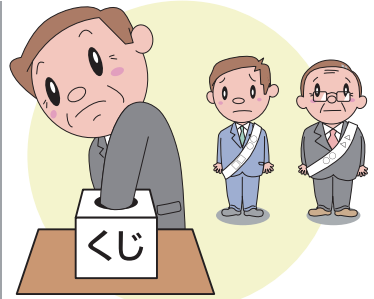
選挙のつぼ Part2



くじで当選人が決まる!?

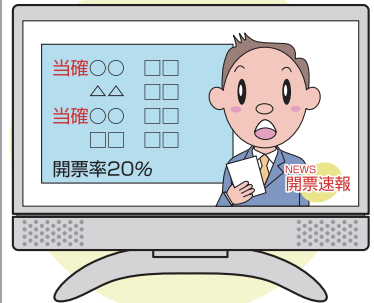
当選人は、開票が終わった後、選挙会において得票の多い者から順次決定されますが、たまたま最下位当選人となるべき者で得票数が同じ者が2人以上いるときは、選挙長がくじで当選人を決定することになっています。

この方法は、昭和22年以降採用されましたが、それ以前は年長者が当選人とされていました。



当確は誰が発表する?

テレビで開票速報を見ていると、開票終了前に当確（当選確定）が伝えられることがありますが、これは報道機関が、出口調査、電話アンケート、候補者の得票状況や候補者の選挙地盤、その他過去の実績等を考慮して独自に発表しているものです。開票率が数パーセントでも当確の発表がされる場合もあるようです。



得票に一票未満の端数があるのは?

選挙結果の発表をみると、ときどき得票数に小数点がついていることがあります。これは、「按分(あんぶん)」という仕組みの結果なのです。

例えば、福井太郎と福井次郎という候補者があった場合、「福井」とだけ書いた投票はどちらの候補者を書いたのかわかりません。こうした投票があった場合にそれぞれの候補者の得票数に応じて分けることを「得票の按分」といい、このため得票数に小数点がつくことがあるのです。

これは、政党等に対する投票でも、同一の名称または略称がある場合に起こります。

